

空手道競技大会要項

- 1 期 日 夏季大会 令和 8年 5月 30日(土)
新人大会 令和 8年 12月 5日(土)
- 2 会 場 石垣市総合体育館(武道場)
- 3 申込期日 夏季大会 令和 8年 5月 7日(木)
新人大会 令和 8年 11月18日(水)
- 4 申込先 中体連事務局 石垣第二中学校 荷川取保
- 5 抽 選 本部抽選とする
- 6 企画運営 八重山中学校体育連盟空手道専門部
- 7 参加資格 (1) 学校長が許可した生徒、または沖縄県中学校体育連盟に登録した地域クラブの生徒。
(2) 引率は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。監督等は出場校の校長・教職員(常勤)・部活動指導員とする。教職員・部活動指導員以外のコーチについては学校長の認めた者で、地区・県に登録された者とする。但し、ベンチ入りについては1名のみとする。
(3) 地域クラブから出場する場合、監督は(公財)全日本空手道連盟の会員とする。
- 8 競技種目 ・団体形(男女別) ・個人形(男女別) ・団体組手(男女別) ・個人組手(男女別)
- 9 参加制限 (1) 団体形・・・男女とも各2チーム以内 ※地域クラブは1団体1チームのみ
(2) 個人形・・・男女各4名以内
(3) 団体組手・・・男女とも各1チーム (4) 個人組手・・・男女各4名以内
- 10 競技規則 (公財)全日本空手道連盟競技規定に準じ、県中体連空手道専門部の確認事項および大会申し合わせ事項に従って行う。

11 競技方法

(1) 形競技(得点方式)

- ① 各ラウンドで使用できる形は、下の表の通りとする。

ラウンド	使用できる形
1	(公財)全空連第一指定形、サンチン、ゲキサイ第一、ゲキサイ第二、鉄騎(ナイハンチ)初段～三段、平安(ピンアン)初段～五段
2	(公財)全空連第二指定形
メダル マッチ	(公財)全空連得意形 ※第1・第2ラウンドで使用した形の使用も可能

- ② 上位進出決定にかかる同点が発生した場合は、以下の手順で勝者を決定する。
ア、有効点のうち、最低点が最も高い者 イ、有効点のうち、最高点が最も高い者
ウ、最低点が最も高い者 エ、最高点が最も高い者
オ、再試合 1) 使用できる形は本ラウンドで演武した以外の形とする。
2) 再試合で使った形は、その後の試合で使用することができる。

(2) 組手競技は以下の通りとする。(トーナメント方式)

① 個人戦

- ア、1分間の6ポイント差で勝敗を決する。
イ、決勝戦のみ1分30秒間の6ポイント差で勝負を決する。

② 団体戦

- ア、全試合1分間の6ポイント差で勝敗を決する。
イ、初戦は大將戦まで行う。以降は、勝敗が決まった段階で試合終了とする。
ウ、勝者同数の場合は、チームの合計取得ポイント数によって勝敗を決する。チームの合計取得ポイント数が同点の場合は代表戦を行う。
エ、規定の過半数の選手(2人)で成立する。
オ、対戦するチームが双方2名の場合は、オーダーを先詰めとする。オーダー表は地区中体連のホームページからダウンロードし、印刷して持参すること。

③ 組手競技は以下の安全具を着用すること。団体戦では出場選手分の防具を装着していること。

- ア、ニューメンホー イ、ボディープロテクター ウ、拳サポーター(全空連及び全国中空連認定の赤・青) エ、ファールカップ(男子のみ) オ、シンガード、インステップガード(全空連及び全国中空連認定の白色のみ)

(3) 試合開始時に選手名を「3回」呼ばれても姿を現さない場合は棄権とする。

※ 参加人数(チーム数)が少ない場合は競技方法を見直す。その場合、監督会にて承認を受ける。

- 12 表彰 競技別に団体、個人とも3位までを表彰する。
- 13 優勝旗 各競技の上位校(選手)に得点を与え、総合優勝を決定し男女別に優勝旗を与える。
- 14 その他 (1) 選手は必ず団体名を空手着の左胸に縫いつけること。(刺繍も可)
(2) 引率者の服装は白の襟付きシャツと黒系スラックス(またはスカート)とする。

空手道競技大会「細則」

1 選手の服装など

- (1) 空手着は白無地一色とし、落書きやふちどりのあるものは禁止とする。
- (2) 団体名が左胸にあること。(形や色については、団体で統一すること)
- (3) 上着の袖の長さは、手首より長くてはならない。また前腕の半分以上の長さであること。
- (4) ズボンは、少なくとも脛の3分の2を覆う長さで、踝(くるぶし)よりも下に達してはならない。
- (5) 競技者は手足の爪を短くし、相手に傷を与えるような物を身につけてはならない。
- (6) 髪留めのゴムバンドは黒か茶のみとする。その他の装飾品は認めない。
- (7) 女子の肌着は白無地のTシャツとする。(ワンポイント、校名は認める)
- (8) 競技者の服装が正しくなかった場合、服装を正すために1分間が与えられる。
- (9) 空手着のヒモは結ぶこと。ヒモなしの空手着は不可とする。
- (10) 帯の長さは、大腿部の3/4を超えない程度とする。また、帯留めは使用してはならない。

2 形競技

- (1) 「(公財) 全日本空手道連盟指定形」とは以下の形である。

	【第1指定形】	【第2指定形】
糸東流	セイエンチン、 バッサイダイ	マツムラローハイ、 ニーパイポ
剛柔流	サイファ、 セーパイ	セイサン、 クルルンファ
松濤館流	カンクウダイ、 ジオン	エンピ、 カンクウショウ
和道流	セイシャン、 チントウ	クーシャンクー、 ニーセイシー

- (2) 団体形の演武において発声が認められるのは「形の呼名」と「演武中の気合い」のみとする。
- (3) 形名を呼称しない、間違った形を呼称する、演武開始の礼と終了の礼をしなかった場合、違反となる。

3 組手競技

- (1) 得点部位は、骨盤の上から鎖骨までが中段、肩を除く鎖骨より上の部位が上段である。
- (2) 得点の種類は、次のとおりとする
「1本」= 3ポイント、「技あり」= 2ポイント、「有効」= 1ポイント
- (3) 次を基準に得点部位への技に対し点が与えられる
「良いフォーム」、「スポーツマンらしい態度」、「気力」、「残心」、「良いタイミング」、「正確な距離」
- (4) 禁止行為は、次のとおりとする
 - ① 得点部位への過度の接触技、および喉への接触技
 - ② 腕、足、股間部、関節、または足の甲への攻撃
 - ③ 開手による顔面への攻撃
 - ④ 「分かれて」の後、「続けて」の前に技を出すこと
 - ⑤ 危険または禁止されている投げ技
 - ⑥ 負傷を装うこと、または誇張すること
 - ⑦ 原因が相手によるものでない場外、または攻撃した競技者が得点とならず、その後場外に出た場合
 - ⑧ 負傷にさらされるような行為、自己を危険にさらすこと、又は自己防衛ができなかった場合(無防備)
 - ⑨ 相手に得点の機会を与えないために、格闘を避けること
 - ⑩ 不活動-戦おうとしない(試合時間が残り 15 秒を切った後、又は得点や先取でリードしている競技者には与えられない)
 - ⑪ 得点技または倒すことを試みず、組み、押し合い、又は胸をつき合わせたりすること
 - ⑫ 相手の蹴り足を掴み倒す場合を除き、両手で相手を掴むこと
 - ⑬ 相手の腕または空手着を片手で掴み、即座に得点技または倒そうとしなかった場合
 - ⑭ 相手の安全を損なう技、または危険でコントロールされていない攻撃
 - ⑮ 頭部、膝、肘で攻撃するふりをした場合、または実際の攻撃
 - ⑯ 対戦相手に話しかけること、煽ること、主審の命令に背くこと、審判団に対する無礼な態度、又はその他道徳に反する行為
 - ⑰ **倒した、あるいは倒れた相手に対しての蹴り(空振りした場合も同様) ※中体連ルール**

4 競技別得点(男女共通)

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
団体形	30	24	18		12		6	
個人形	10	8	6		4		2	
団体組手	30	24	18		9			
個人組手	10	8	6		3			

※同点の場合は個人戦でベスト8に入った選手の人数が多い団体を上位とする。